

## (14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社経営状況報告書

法人の概要（令和7年6月30日現在）

- 1 名 称 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社
- 2 目 的 天神川流域下水道の維持管理に関する業務を行うとともに、下水道知識の普及・啓発活動及び下水道技術に関する調査研究等を行い、県及び流域関連市町が実施する下水道事業に協力し、もって地域住民の健康で快適な生活環境の向上と公共用水域の水質保全に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成24年3月19日  
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立許可年月日  
昭和57年8月1日)
- 4 設立登記年月日 平成24年4月1日  
(財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社設立登記年月日  
昭和57年8月7日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 3,000,000円  
鳥取県出えん金 1,500,000円  
倉吉市出えん金 500,000円  
湯梨浜町出えん金 500,000円  
三朝町出えん金 250,000円  
北栄町出えん金 250,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 5人 理 事 7人 監 事 2人  
評 議 員 青 木 由紀子 (湯梨浜町商工会女性部長)  
" 岩 本 善 文 (倉吉商工会議所専務理事)  
" 広 田 一 恭 (倉吉市長)  
" 清 水 文 人 (学校法人藤田学院鳥取短期大学教授)  
" 後藤田 拓 也 (鳥取県生活環境部自然共生社会局長)  
理 事 長 田 村 満 男  
常務理事 田 村 満 男 (理事長兼務)  
理 事 宮 脇 正 道 (湯梨浜町長)

理 事 松 浦 弘 幸 (三朝町長)  
" 手 嶋 俊 樹 (北栄町長)  
" 加 藤 礼 二 (倉吉市副市長)  
" 中 江 亜紀子 (有限会社中江組代表取締役)  
" 清 水 広 明 (鳥取県生活環境部自然共生社会局水環  
境保全課長)

監 事 木 天 昌 明 (税理士)  
" 植 原 徳 彦 (行政書士)

7 職 員 7人

8 事 務 所 東伯郡湯梨浜町はわい長瀬1517番地

## 令和6年度事業実施状況

天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和6年度～令和10年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理を適正かつ効率的に行い、良好で安定的な下水処理の確保を図るとともに、設備機器類等の下水道施設の適切な維持管理を行うことで、持続的な下水道機能の確保に取り組んだ。

また、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を実施するとともに、中期経営計画に基づき継続的な業務改善と効果的・効率的な管理運営の推進並びに一層の経費の縮減に取り組んだ。

令和6年度決算額は、513,926千円であり、主要機器の分解整備工事など予防保全的修繕を着実に実施するとともに、効率的な管理運営により経費の縮減に取り組んだが、資材、薬品の高騰、修繕工事の増加などで、前年度比4.7%の増加となった。

## 1 天神川流域下水道の管理運營業務

## (1) 天神浄化センターの運転管理、水質管理等

天神浄化センターの流入汚水に対して、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理を適正かつ効率的に行い、常に良好な状況を保持し下水道機能の確保を図るとともに、年間を通じて良好で安定的な下水処理を実施することができた。脱水汚泥は全量処分委託により堆肥化等として有効活用を図った。

流入汚水量は年間6,937千 $m^3$ （日量19,007 $m^3$ ）で前年度比0.5%の減少となり、脱水汚泥は年間4,054ト $n$ で7.4%の減少、使用電力量は4,062千kwhで0.6%の増加であった。

また、汚水処理原価（指定管理料÷年間流入汚水量）は、74.1円/ $m^3$ となった。

[水処理及び汚泥処理の状況]

## ア. 流入汚水量

年間計画流入水量6,991,000 $m^3$ （日平均19,153 $m^3$ ）に対し、実績は次のとおりであった。

日平均	19,007 $m^3$
年間合計	6,937,714 $m^3$

## イ. 水処理の状況

放流水の水質基準を十分に達成した。

項目	流入下水	放流水	放流水の水質基準 (下水道法)	水質 除去率
BOD (mg/l)	140	5.6	15	96%
浮遊物質(SS) (mg/l)	150	1.0	40	99%

※BOD＝生物化学的酸素要求量

## (2) 施設の維持管理業務

天神浄化センターの日々の運転操作・監視及び保守点検を外部委託で実施するとともに、設備機器類の定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕として汚泥スクリーンタンク他、放送設備、防火ダンパー等の工事、計画的な分解整備（オーバーホール）として無停電電源装置蓄電池、ケーキ貯留サイロ他や流量計測設備修繕工事の予防保全的修繕を実施し、故障・事故の未然防止と低減及び施設の機能保全に取り組んだ。

また、若土ポンプ場施設や市町処理分区の流量計測設備（23箇所）等の維持管理、幹線管路施設の巡回点検等を実施した。

## (3) 緊急時の対応

天神川流域下水道非常時対応要綱に基づき、公社の運用方法等（緊急非常時対応基準書、異常大量流入水時の運転計画）を定め、水害、地震・津波、異常流入水、下水道施設の破損等に備えている。

- ・総合訓練・・・豪雨による異常大量流入水を教訓に災害本部の立ち上げ、着水井ゲート操作、緊急点検等を実施した。（6月26日）
- ・BCP訓練・・・令和6年1月の能登半島地震を受けて県主催の訓練に参加した。（11月14日）

- ・管路点検・・・埼玉県の下水道管陥没事故を受けて、幹線管渠の緊急点検を実施した。  
(1月31日)

## 2 下水道の水質分析等

令和6年度水質試験計画により、天神浄化センターへ流入する汚水、放流水、市町処理分区の接続点の汚水及び汚泥等の分析を公社が直営で実施し、ダイレクトに現場へ反映させることにより、適正かつ効率的な運転管理に取り組んだ。

水質試験回数	405 回
検体数	20,349 検体

## 3 下水道技術者の養成

公社職員の資質及び技術の向上を図るため、技術研修会、講習会等に参加した。

## 4 下水道技術の調査研究

下水道研究発表会（ライブ配信）に参加して、下水道に関連する技術や下水道経営などに関する日頃の研究成果や実務事例等を聴講した。また、毎月1回水処理・汚泥処理等検討会として、適切かつ効率的な管理運営、業務改善等の調査研究を実施した。

## 5 下水道知識の普及及び啓発

(1) ホームページに下水道の仕組み、公社の財務状況、水処理状況等を随時更新した。

(2) 下水道についての理解と普及促進を図るため次のとおり開催した。

### ① ぐるり水の探検

中部地区の小学生親子を対象に、東郷ダム、倉吉市水道局円谷町水源池及び天神浄化センターの施設見学、顕微鏡の観察、水質検査等の体験を行い、水の循環、適正な利用、汚水処理について理解を深めてもらった。

開催日：7月27日

参加者：中部地区の親子 20 家族 56 名（大人 24 名、子ども 32 名）

### ② 下水道コンクール

中部地区の小学校4年生の児童を対象に下水道に関する絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集した。審査会を実施して、優秀作品には表彰状を授与した。

入賞作品：絵画・ポスター2点、習字15点、標語13点

応募作品数：合計652点（対前年比13%の減少）

	絵画・ポスター	習字	標語	計
令和6年度作品数	2	488	162	652
令和5年度作品数	5	579	165	749

審査会：9月17日、表彰式：11月4日（倉吉交流プラザ）、

作品展示会：11月4日～6日（エースパック倉吉未来中心）

### ③ 下水道ふれあい教室

職員が小学校に出向き、環境教育の一環として下水道の仕組み、微生物の説明、顕微鏡観察、水質検査等の出前授業行う予定であったが、希望する小学校がなかった。

### ④ 天神浄化センターの見学者

天神浄化センターへの見学者数は、次のとおりである。

年度	総数	内 訳		
		一般	学校関係	官公庁職員
令和6年度	649人	56人	593人	0人
令和5年度	666人	17人	649人	0人

## 6 中期経営計画の取組

中期経営計画2021（令和3年度～令和6年度）に基づき、適正かつ効果的な下水処理施設の維持管理を行うとともに、継続的な業務内容の点検・見直し及び管理運営の一層の効率化の前進に取り組んだ。

令和6年度終了後の最終評価は、A評価（良くできている）が15項目で、目標項目の75%がA評価を達成しており、適正かつ効果的な維持管理、継続的な業務内容の点検・見直し等に取り組んだ成果であった。

### (1) 水処理・汚泥処理等検討会の開催と継続的な業務改善

水処理・汚泥処理等検討会を開催し、業務の充実・改善と適切かつ効率的な管理運営の調査検討に取り組んでいる。

- 4月 ・令和6年度事業計画について
- 5月 ・高分子凝集剤選定作業について
- 6月 ・令和6年度のT E A S IIの取組について
- 7月 ・令和5年度維持管理実績概要と今後の取組について
- 8月 ・ぐるり水の探検の振り返りについて
- 9月 ・2種類の高分子凝集剤を使用した場合のトータル経費の比較について
- 10月 ・下水汚泥の肥料利用促進セミナー受講内容について
- 11月 ・鳥取県下水道BCP訓練と防災研修の振り返りについて
- 12月 ・天神川流域下水道危機管理マニュアルの改訂（方針）について
- 2月 ・令和7年度事業計画について
- 3月 ・天神川流域下水道危機管理マニュアルの改訂（案）について

## 7 その他

### (1) 全国下水道公社連絡協議会、中国四国下水道公社連絡協議会に出席した。

- ・第46回全国下水道公社連絡協議会（主催：三重県下水道公社）
- ・第30回中国四国下水道公社連絡協議会（主催：鳥取県天神川流域下水道公社）

### (2) 県の監査、検査

財政援助団体本監査（県監査委員） 指摘事項なし

### (3) 雨天時浸入水に係る関連公共下水道との意見交換会

梅雨時期の豪雨が予想されることから、現状や危機管理体制等について、県・関連公共市町との意見交換を実施した。

### (4) 人権教育の研修会

職場内人権推進員研修、あいサポーターに関する研修、職場内人権研修会を実施した。

### (5) 消防訓練

消防計画に基づき、訓練を実施した。

### (6) 維持管理年報の作成

前年の維持管理状況をまとめた年報を作成し、公社ホームページに掲載した。

### (7) 業務の確認等

- ・脱水汚泥の処分業務委託について、搬出、処分状況を確認した。（岡山県真庭市、兵庫県加古川市、境港市）
- ・令和7年度の業務用薬品（高分子凝集剤）の使用に当たり、薬品の選定作業の立ち会い確認を行った。（京都府八幡市）

(8) その他

- 不当要求行為等対策責任者研修を受講した。
- 男性従業員に対する育児の基本的な知識技能習得や家事育児の分担意識醸成・不安払拭を目的として「父親学級」に職員が参加した。
- 公益法人の制度改革が令和7年4月より適用となるため、説明会に参加した。
- TEASⅡ更新のための審査があり、規格に適合しているという結果であった。(令和10年3月まで有効期間延長)

## 正味財産増減計算書

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60	60	0	
基本財産受取利息	60	60	0	
事業収益	513,914,442	490,680,143	23,234,299	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	513,914,442	490,680,143	23,234,299	
雑収益	12,044	274	11,770	
受取利息	11,824	274	11,550	
雑収益	220	0	220	
経常収益計	513,926,546	490,680,477	23,246,069	
(2) 経常費用				
事業費	498,541,648	476,079,038	22,462,610	
役員報酬	4,160,510	4,142,233	18,277	
給料手当	28,915,192	29,554,433	△ 639,241	
退職給付掛金	1,842,000	1,842,000	0	
福利厚生費	5,196,898	5,507,337	△ 310,439	
会議費	10,997	8,812	2,185	
旅費交通費	28,400	193,960	△ 165,560	
通信運搬費	384,210	373,738	10,472	
消耗品費	19,721,290	22,456,528	△ 2,735,238	
修繕費	96,242,440	83,094,489	13,147,951	
印刷製本費	191,334	38,280	153,054	
燃料費	846,471	706,573	139,898	
光熱水料費	94,005,664	104,439,292	△ 10,433,628	
賃借料	1,655,688	1,545,997	109,691	
保険料	51,851	36,131	15,720	
手数料	105,566	547,570	△ 442,004	
租税公課	4,748,736	4,845,053	△ 96,317	
委託費	240,411,301	216,593,892	23,817,409	
負担金	23,100	152,720	△ 129,620	
管理費	15,211,265	14,703,701	507,564	
役員報酬	1,040,127	1,035,559	4,568	
給料手当	6,372,433	6,237,279	135,154	
退職給付掛金	288,000	288,000	0	

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
	円	円	円	
福利厚生費	1,217,208	1,207,952	9,256	
会議費	15,900	6,000	9,900	
旅費交通費	105,960	182,800	△ 76,840	
通信運搬費	233,459	241,288	△ 7,829	
消耗品費	848,575	870,824	△ 22,249	
修繕費	142,318	93,896	48,422	
印刷製本費	13,475	0	13,475	
燃料費	226,356	188,635	37,721	
光熱水料費	803,294	889,785	△ 86,491	
賃借料	760,126	673,936	86,190	
保険料	73,030	57,890	15,140	
諸謝金	217,550	232,600	△ 15,050	
手数料	438,230	161,930	276,300	
租税公課	367,164	554,647	△ 187,483	
委託費	1,835,900	1,522,400	313,500	
負担金	212,160	258,280	△ 46,120	
経常費用計	513,752,913	490,782,739	22,970,174	
当期経常増減額	173,633	△ 102,262	275,895	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	173,633	△ 102,262	275,895	
一般正味財産期首残高	2,078,626	2,180,888	△ 102,262	
一般正味財産期末残高	2,252,259	2,078,626	173,633	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000,000	3,000,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000,000	3,000,000	0	
III 正味財産期末残高	5,252,259	5,078,626	173,633	

## 正味財産増減計算書内訳表

(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	60			60
基本財産受取利息	60			60
事業収益	498,821,197	15,093,245		513,914,442
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	498,821,197	15,093,245		513,914,442
雑収益	12,044			12,044
受取利息	11,824			11,824
雑収益	220			220
経常収益計	498,833,301	15,093,245	0	513,926,546
(2) 経常費用				
事業費	498,541,648			498,541,648
役員報酬	4,160,510			4,160,510
給料手当	28,915,192			28,915,192
退職給付掛金	1,842,000			1,842,000
福利厚生費	5,196,898			5,196,898
会議費	10,997			10,997
旅費交通費	28,400			28,400
通信運搬費	384,210			384,210
消耗品費	19,721,290			19,721,290
修繕費	96,242,440			96,242,440
印刷製本費	191,334			191,334
燃料費	846,471			846,471
光熱水料費	94,005,664			94,005,664
賃借料	1,655,688			1,655,688
保険料	51,851			51,851
手数料	105,566			105,566
租税公課	4,748,736			4,748,736
委託費	240,411,301			240,411,301
負担金	23,100			23,100
管理費		15,211,265		15,211,265
役員報酬		1,040,127		1,040,127
給料手当		6,372,433		6,372,433
退職給付掛金		288,000		288,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	円	円	円	円
福利厚生費		1,217,208		1,217,208
会議費		15,900		15,900
旅費交通費		105,960		105,960
通信運搬費		233,459		233,459
消耗品費		848,575		848,575
修繕費		142,318		142,318
印刷製本費		13,475		13,475
燃料費		226,356		226,356
光熱水料費		803,294		803,294
賃借料		760,126		760,126
保険料		73,030		73,030
諸謝金		217,550		217,550
手数料		438,230		438,230
租税公課		367,164		367,164
委託費		1,835,900		1,835,900
負担金		212,160		212,160
経常費用計	498,541,648	15,211,265	0	513,752,913
当期経常増減額	291,653	△ 118,020	0	173,633
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	291,653	△ 118,020	0	173,633
一般正味財産期首残高	1,948,286	130,340	0	2,078,626
一般正味財産期末残高	2,239,939	12,320	0	2,252,259
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	3,000,000	0	0	3,000,000
指定正味財産期末残高	3,000,000	0	0	3,000,000
III 正味財産期末残高	5,239,939	12,320	0	5,252,259

## 貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増減
	円	円	円
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
普通預金	37,047,023	32,884,651	4,162,372
未収金	9,426	0	9,426
貯蔵品	2,252,259	2,078,626	173,633
流動資産合計	39,308,708	34,963,277	4,345,431
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	3,000,000	3,000,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
固定資産合計	3,000,000	3,000,000	0
資産合計	42,308,708	37,963,277	4,345,431
II 負債の部			
1 流動負債			
預り金	153,863	497,330	△ 343,467
仮受金	0	0	0
未払金	36,902,586	32,387,321	4,515,265
流動負債合計	37,056,449	32,884,651	4,171,798
2 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	37,056,449	32,884,651	4,171,798
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
指定正味財産合計	3,000,000	3,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	(3,000,000)	(3,000,000)	(0)
2 一般正味財産	2,252,259	2,078,626	173,633
正味財産合計	5,252,259	5,078,626	173,633
負債及び正味財産合計	42,308,708	37,963,277	4,345,431

## 財務諸表に対する注記

## 1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事業又は状況はない。

## 2. 重要な会計方針

(1) 平成20年公益法人会計基準（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会）を適用している。

(2) 棚卸資産（貯蔵品）について

棚卸資産の評価基準は取得原価基準とし、評価方法は最終仕入原価法を採用している。

(3) 消費税の会計処理について

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

## 3. 会計方針の変更

該当なし

## 4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産 定期預金	3,000,000	0	0	3,000,000
合 計	3,000,000	0	0	3,000,000

## 5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産 定期預金	3,000,000	(3,000,000)	(0)	—
合 計	3,000,000	(3,000,000)	(0)	0

## 6. 担保に供している資産

該当なし

## 7. 固定資産の所得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当なし

## 8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

## 9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当なし

## 10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当なし

## 11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

該当なし

(14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高  
該当なし

13. 指定正味財産からの一般正味財産への振替額の内訳  
該当なし

14. 関連当事者との取引の内容  
該当なし

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引  
該当なし

16. 重要な後発事象  
該当なし

17. その他  
資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産増減の状況を明らかにするために必要な事項

(単位：円)

品名	当期末残高
業務用薬品	1,053,961
材料	20,143
自家用発電設備燃料	1,165,835
切手、収入印紙	12,320
合計	2,252,259

## 財 産 目 録

(令和7年3月31日現在)

貸借対象表科目	場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)			円
現金預金	普通預金 山陰合同銀行 羽合支店	運転資金として	37,047,023
未収金	労働保険	労働保険過払い金	9,426
貯蔵品	業務用薬品（高分子凝集剤、 次亜塩素酸ソーダ、苛性ソーダ他）	運転管理等に伴う年度末の在庫として	1,053,961
	材料（ろ過砂）	砂ろ過設備の材料として	20,143
	A重油	自家用発電設備燃料として	1,165,835
	切手、収入印紙	郵送、契約書用として	12,320
流動資産合計			39,308,708
(固定資産)			
基本財産			
定期預金	定期預金 山陰合同銀行羽合支店	公益目的保有財産で運用益を公益目的事業の財源として使用している	3,000,000
その他固定資産			0
固定資産合計			3,000,000
資産合計			42,308,708
(流動負債)			
未払金	鳥取県に対する未払額他	鳥取県に対する指定管理料返納金未払他	36,902,586
預り金	源泉徴収所得税他	源泉所得税、住民税他預り金	153,863
流動負債合計			37,056,449
(固定負債)			
			0
固定負債合計			0
負債合計			37,056,449
正味財産			5,252,259

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表に対する注記4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

該当なし

## 令和7年度事業計画

## I 基本方針

当社は、天神川流域下水道の維持管理及び運營業務を行う指定管理者（令和6年度～10年度）として、天神浄化センター（終末処理場）の運転管理、設備管理、水質分析及び下水道知識の普及・啓発等の事業を適切に遂行するとともに、継続的な業務改善と更なる事業経営の効率化に取り組むことにより、下水道事業を取り巻く社会情勢の変化や地域のニーズ等に対応できる公益法人を目指していく。

現指定管理期間の2年目となる令和7年度は、管理運営の方針に基づき、水処理施設、汚泥処理施設等の運転管理、水質管理と施設の維持管理をより適切かつ効率的に遂行する。

## 【管理運営方針】

- (1) 良好かつ効果的な下水処理を確保すること
- (2) 適切な維持管理による持続的な下水道機能を確保すること
- (3) 継続的な業務改善と管理運営の効率化を進めること
- (4) 下水道技術の普及及び啓発等の充実に努めること
- (5) 下水道技術の継承と技術力向上を図ること
- (6) 連携協力と信頼性を確保すること

## II 事業内容

## 1 天神川流域下水道の管理運營業務【528,815千円】

## (1) 天神浄化センター運転管理、水質管理等業務

- 天神浄化センターの水処理施設、汚泥処理施設の運転管理、水質管理を効率的かつ継続的に実施し、常に良好で安定した水質の確保及び汚泥処理の最適化と有効活用を推進する。
- 流入汚水の量的質的变化や水質試験結果等をダイレクトに反映させながら、水処理悪化等に対する迅速な対応と放流水質管理目標の確保とともに、下水道機能の維持を図る。
- 日々の運転操作・監視及び保守点検等は外部委託で実施しており、相互連携の下で天神浄化センターの適切な運転管理及び水質管理に取り組む。

## ・計画流入汚水量

令和7年度	令和6年度実績
7,066,788m <sup>3</sup> （日平均 19,361m <sup>3</sup> ）	6,937,714m <sup>3</sup> （日平均 19,007m <sup>3</sup> ）

## ・放流水質管理目標（年間最大値）

BOD(mg/ℓ)	SS(mg/ℓ)	大腸菌数(CFU/ml)
10 未満	10 未満	800 未満

## ・計画汚泥処理量

令和7年度	令和6年度実績
4,773t	4,341t

## (2) 施設の維持管理業務

- 設備機器類に精通した専門技術者の蓄積されたノウハウ等を活かし、定期的な点検調整と必要な部品交換や修繕工事、そして計画的な分解整備（オーバーホール）等による予防保全的修繕を実施するなど、機能保全措置により故障の未然防止と施設の長寿命化を図る。
- エネルギー管理の徹底、脱水汚泥発生量の削減、部品交換・修繕工事等の合理化・効率化など継続的な業務改善と維持管理の効率化に取り組む。

・維持管理施設

対象施設	<ul style="list-style-type: none"><li>・天神浄化センター（処理能力 32,000m<sup>3</sup>/日）</li><li>・幹線管渠（28.6 km）及び放流管渠</li><li>・処理分区流量計測設備（23 箇所）</li><li>・若土ポンプ場</li></ul>
------	---

・予防保全的修繕【100,921 千円】

①分解整備

濃縮汚泥ポンプ（6 年度債務負担）、1 号スクリーンプレス脱水機、ベルト型ろ過濃縮機、水中エアレータ、汚泥棟無停電電源装置

②臨時的修繕

し渣脱水機、水処理系計装設備他

・事後対応修繕【3,000 千円】

修繕費枠予算

2 下水道の水質分析等【1,400 千円】

○処理場へ流入する汚水、放流水、各処理分区接続点の汚水及び汚泥等の水質管理を行い、ダイレクトに現場での維持管理へ反映させることで、良好で安定した水質の確保を図る。

3 下水道技術者の養成【234 千円】

○下水道事業に係る職員の技術研修会を鳥取県及び下水道事業団等と連携して実施する。  
○下水道に関する知識、技術の習得、向上を図るため、各種団体が実施する研修会等への積極的な参加等により職員のスキルアップと現場実務への反映を図る。

4 下水道技術の調査研究【361 千円】

○下水道維持管理コストの縮減、水処理、汚泥処理技術等の改善策、他の処理場の維持管理状況などについて、調査研究を実施する。  
○8 月に開催される下水道研究発表会（日本下水道協会主催）に参加するなど、下水道技術の情報収集を実施する。

5 下水道知識の普及及び啓発等【809 千円】

○小学生、周辺住民、一般見学者等に対して、下水道の役割、効果、下水処理場の仕組み等の説明と施設見学を実施する。  
○ホームページの充実と情報を分かりやすく発信していく。  
○水の循環をテーマとし、下水道が環境に果たす役割の理解を深めることを目的として、ダム、水道水源地、天神浄化センターを見学する「ぐるり水の探検」を開催する。  
○「下水道コンクール」として、中部地区の小学校 4 年生の児童を対象に、絵画・ポスター、習字、標語の作品を募集し、審査会を経て優秀作品を表彰する。  
○「下水道ふれあい教室」として、職員が小学校へ出向いて、環境教育の一環として下水道の仕組み、水質検査等の授業を実施する。

6 その他公社の目的を達成するために必要な事業

## 収 支 予 算 書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1	1	0	
基本財産受取利息	1	1	0	
事業収益	548,157	570,944	△ 22,787	
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	548,157	570,944	△ 22,787	
雑収益	1	1	0	
受取利息	1	1	0	
経常収益計	548,159	570,946	△ 22,787	
(2) 経常費用				
事業費	531,619	554,290	△ 22,671	
役員報酬	4,231	4,142	89	
給料手当	30,327	30,219	108	
退職給付掛金	1,764	1,872	△ 108	
福利厚生費	5,731	5,610	121	
会議費	14	11	3	
旅費交通費	414	269	145	
通信運搬費	396	396	0	
消耗品費	22,427	20,754	1,673	
修繕費	103,936	93,066	10,870	
印刷製本費	180	65	115	
燃料費	1,489	1,401	88	
光熱水料費	93,143	138,187	△ 45,044	
賃借料	1,742	1,862	△ 120	
保険料	46	73	△ 27	
手数料	199	158	41	
租税公課	5,335	5,257	78	
委託費	260,064	250,789	9,275	
負担金	181	159	22	
管理費	16,540	16,656	△ 116	
役員報酬	1,058	1,036	22	
給料手当	6,840	6,489	351	
退職給付掛金	288	288	0	

## (14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
	千円	千円	千円	
福利厚生費	1,313	1,248	65	
会議費	11	11	0	
旅費交通費	351	468	△ 117	
通信運搬費	328	304	24	
消耗品費	980	936	44	
修繕費	165	116	49	
印刷製本費	50	41	9	
燃料費	239	227	12	
光熱水料費	792	1,163	△ 371	
賃借料	828	928	△ 100	
保険料	62	64	△ 2	
諸謝金	313	325	△ 12	
手数料	476	407	69	
租税公課	340	332	8	
委託費	1,873	2,040	△ 167	
負担金	233	233	0	
経常費用計	548,159	570,946	△ 22,787	
当期経常増減額	0	0	0	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	1,600	1,300	300	貯蔵品期首残高
一般正味財産期末残高	1,600	1,300	300	貯蔵品期末残高
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	3,000	3,000	0	
指定正味財産期末残高	3,000	3,000	0	
III 正味財産期末残高	4,600	4,300	300	

## 収支予算書内訳表

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	1			1
基本財産受取利息	1			1
事業収益	531,617	16,540		548,157
天神川流域下水道維 持管理受託事業収益	531,617	16,540		548,157
雑収益	1			1
受取利息	1			1
経常収益計	531,619	16,540	0	548,159
(2) 経常費用				
事業費	531,619			531,619
役員報酬	4,231			4,231
給料手当	30,327			30,327
退職給付掛金	1,764			1,764
福利厚生費	5,731			5,731
会議費	14			14
旅費交通費	414			414
通信運搬費	396			396
消耗品費	22,427			22,427
修繕費	103,936			103,936
印刷製本費	180			180
燃料費	1,489			1,489
光熱水料費	93,143			93,143
賃借料	1,742			1,742
保険料	46			46
手数料	199			199
租税公課	5,335			5,335
委託費	260,064			260,064
負担金	181			181
管理費		16,540		16,540
役員報酬		1,058		1,058
給料手当		6,840		6,840
退職給付掛金		288		288

## (14) 公益財団法人 鳥取県天神川流域下水道公社

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
	千円	千円	千円	千円
福利厚生費		1,313		1,313
会議費		11		11
旅費交通費		351		351
通信運搬費		328		328
消耗品費		980		980
修繕費		165		165
印刷製本費		50		50
燃料費		239		239
光熱水料費		792		792
賃借料		828		828
保険料		62		62
諸謝金		313		313
手数料		476		476
租税公課		340		340
委託費		1,873		1,873
負担金		233		233
経常費用計	531,619	16,540	0	548,159
当期経常増減額	0	0	0	0
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替額				0
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,500	100	0	1,600
一般正味財産期末残高	1,500	100	0	1,600
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	3,000	0	3,000
指定正味財産期末残高	0	3,000	0	3,000
III 正味財産期末残高	1,500	3,100	0	4,600